

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 製品名 | : チェリーバブルズ |
| 会社名 | : 株式会社創新 |
| 住所 | : 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階 |
| 電話番号 | : 03-3918-3100 |
| FAX番号 | : 03-3918-3511 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | : 自動車用ボディーシャンプー |
| 使用上の制限 | : 業務使用 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|------------------|-------------------|
| 物理化学的危険性 | GHS分類に該当する項目はない | |
| 健康に対する有害性 | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分1 |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分1 |
| | 皮膚感作性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分2(中枢神経系、呼吸器、肝臓) |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分2(中枢神経系) |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分3 |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分3 |

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
中枢神経系、呼吸器、肝臓の障害のおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

**保管
廃棄**

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 施錠して保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別成分 : 混合物

| 化学名 | 含有率 | CAS番号 | 化審法番号 | 安衛法 | | PRTR | 毒劇 |
|----------------------------------|--------|------------|--------|-----|-----|-------|-------|
| | | | | 表示 | 通知 | | |
| ドデシルベンゼンスルホン酸 | 10-30% | 27176-87-0 | 3-1907 | 非該当 | 非該当 | 第一種 | 非該当 |
| ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体 | 10-30% | 68584-22-5 | 3-1907 | 非該当 | 非該当 | 第一種*1 | 非該当 |
| ベンゼンスルホン酸の4-sec-アルキル(C=10~13)誘導体 | 10-30% | 85536-14-7 | 3-1907 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 2-アミノエタノール | 1-5% | 141-43-5 | 2-301 | 該当 | 該当 | 第一種 | 非該当*2 |

*1 直鎖C10-14の範囲が該当 *2 閾値未満のため非該当

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合 : 直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、散水

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特有の危険有害性 : 火災によってCO₂、CO等の有害ガスを発生するおそれがある。
 蒸気は引火点以上の温度では、火花、炎或は他の着火源により着火する。
 蒸気は空気より重く、着火源までフラッシュバックすることがある。
 空容器でも残留物が残っていると着火の危険性がある。

特有の消化方法 : 自給式呼吸器などのフル装備の保護具なしで火災現場に立ち入らないこと。
 消火作業は可能な限り風上から行う。
 危険な蒸気と分解生成物から安全な距離および安全な場所から消火する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
 風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項
 流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
回収
 少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス雑巾等でよくふき取る。
 多量の場合土砂等(の不燃物)で困って流出を防止し、スコップ又は吸引機などでから容器に回収する。
中和

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。
二次災害の防止策
 こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
 日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

安衛法 未設定

許容濃度

| | | |
|------------------|------------|-----------|
| 日本産業衛生学会(2022年度) | 2-アミノエタノール | 3ppm |
| ACGIH(2020年度) | アミノエタノール | TWA 3ppm |
| | | STEL 6ppm |

保護具

| | |
|------------|------------|
| 呼吸用保護具 | 有機ガス用防毒マスク |
| 手の保護具 | 耐透過性保護手袋 |
| 眼の保護具 | 安全ゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具 | 長袖作業衣 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|-------|
| 物理的状态 | 液体 |
| 色 | 赤 |
| 臭い | チェリー臭 |
| 融点/凝固点 | 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 情報なし |
| 可燃性 | 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | 情報なし |
| 引火点 | 情報なし |
| 自然発火点 | 情報なし |
| 分解温度 | 情報なし |
| pH | 9-10 |
| 動粘性率 | 情報なし |
| 溶解度 | 水に対して |
| n-オクタノール/水分配係数 (log値) | 情報なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |

| | |
|--------|------|
| 相対密度 | 1 |
| 相対ガス密度 | 情報なし |
| 粒子特性 | 情報なし |
| その他データ | 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-------------------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 通常の取り扱いでは安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の取扱いでは起らない。 |
| 避けるべき条件 | 過度の熱 |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物 |

11. 有害性情報

| | | | |
|------------------|----------------------------------|---------------------|---------------|
| 急性毒性 | | | |
| 経口 | ドデシルベンゼンスルホン酸 | ラットLD ₅₀ | 1260mg/kg |
| | ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体 | ラットLD ₅₀ | 775mg/kg |
| | ベンゼンスルホン酸の4-sec-アルキル(C=10~13)誘導体 | ラットLD ₅₀ | 1219mg/kg |
| | 2-アミノエタノール | ラットLD ₅₀ | 1720mg/kg |
| | 製品のATE | | 2252mg/kg |
| 経皮 | ドデシルベンゼンスルホン酸 | ウサギLD ₅₀ | 631-1000mg/kg |
| | ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体 | ウサギLD ₅₀ | 2000mg/kg |
| | 2-アミノエタノール | ウサギLD ₅₀ | 1000mg/kg |
| | 製品のATE | | 2963mg/kg |
| 吸入 | | 情報なし | |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 2-アミノエタノール | 区分1 | |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 2-アミノエタノール | 区分1 | |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性 | 2-アミノエタノール | 皮膚感作 | 区分1 |
| 生殖細胞変異原性 | | 情報なし | |
| 発がん性 | | 情報なし | |
| 生殖毒性 | | 情報なし | |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 2-アミノエタノール | 区分1、中枢神経系、呼吸器、肝臓 | |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 2-アミノエタノール | 区分1、中枢神経系 | |
| 誤えん有害性 | | 情報なし | |

12. 環境影響情報

| | | | | |
|-----------|---------|--------|----------------------------------|-------|
| 生態毒性 | 水生環境有害性 | 短期(急性) | ドデシルベンゼンスルホン酸 | 区分2 |
| | 水生環境有害性 | 長期(慢性) | ドデシルベンゼンスルホン酸 | 区分2 |
| 残留性・分解性 | | | 情報なし | |
| 生体蓄積性 | LogPow | | ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体 | 2 |
| | | | ベンゼンスルホン酸の4-sec-アルキル(C=10~13)誘導体 | 2 |
| | | | 2-アミノエタノール | -1.91 |
| 土壌中の移動性 | | | 情報なし | |
| オゾン層への有害性 | | | 情報なし | |
| 他の有害影響 | | | 情報なし | |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 : IMOの規定に従う。
 国連番号 UN1760
 品名 その他の腐食性液体、他に品名が明示されていないもの(2-アミノエタノール溶液)
 国連分類 8
 容器等級 III
 海洋汚染物質 -
 航空輸送 : ICAO/IATAの規定に従う。
 国連番号 UN1760
 品名 その他の腐食性液体、他に品名が明示されていないもの(2-アミノエタノール溶液)
 国連分類 8
 容器等級 III

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 154

国内規制

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う
 航空規制情報 航空法の規定に従う
 陸上規制情報 国内法規に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
 直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化学物質排出管理促進法

第一種指定化学物質

ドデシルベンゼンスルホン酸 (平均18%)
 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。) (代表値:12%)
 2-アミノエタノール (平均3.0%)

労働安全衛生法

通知・表示義務物質 2-アミノエタノール
 特化則 非該当
 有機則 非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

非該当

化審法

優先評価化学物質 2-アミノエタノール

16. その他情報

ITW Evercoat SDS Revision Date 31-Jul-2020、Version 1に対応

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法'-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」に対応

NITR-CHRIP

GHS政府分類結果

ACGIH TLVs and BELs 2020

該当：令和5年化管法改訂にともなうSDS改訂

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。